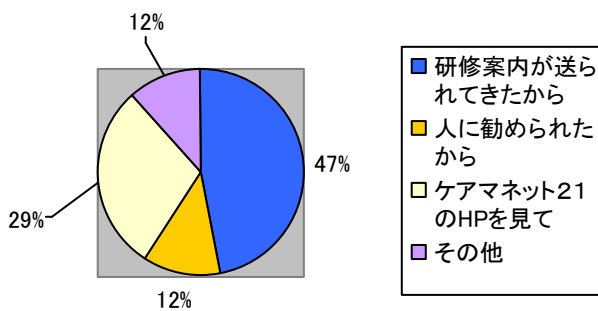


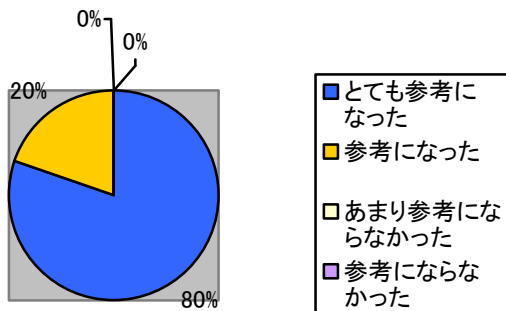
NPO 法人ケアマネット21 研修会アンケート
テーマ「 難病・ヤングケアラーの支援について学ぶ 」

【参加者】 ケアマネット21 会員： 30名 非会員： 49名 計 79名
アンケート回答者： 66名 回答率 83.5 %

●今回の研修会の参加についてお尋ねします。



●本日の研修(講義・演習)の感想をお聞かせ下さい。



【自由記述欄】

午前

- ・ヤングケアラーの研修初めてだったので、勉強になった
- ・子供の将来に影響及ぼすことだと思いますし、連携を図りたい
- ・ヤングケアラー事例に携わった事は無いので、家庭全般をどのように捉え支援できるのかを考える事は難しかった。高齢者に関する部分は考えられても、子供や成人に関しては、知識不足情報が薄いこともあって考えにくかった。
- ・ヤングケアラーや子供家庭相談コーナー、その他の支援事業について詳しく学べた。
- ・ヤングケアラーについて少しでも知ることができた。

- ・ヤングケアラーの対象年齢が、30歳～40歳未満の人も対象とは思っていなかったのが勉強になった。自分の担当する利用者にも当てはまると思った。
- ・利用者家族にサポートが必要な、ヤングケアラーがいるかもしれないと意識しながら訪問していきたい。
- ・ヤングケアラーと判断する基準に気がつけたが、他職種との関わり大切さが重要で、当事者に寄り添った支援を意識していきたいと思った。
- ・ヤングケアラーは、その当事者が問題意識を感じていると言うことが少ないと、学んだ
- ・ケアマネジャーが相談窓口で相談する場合、当事者の同意が必要なのであれば、実際どのようにしたら良いのだろうと少しモヤッとした。
- ・他職種との連携は、同じ目的を教育機関も含めた多職種で共有することもとても難しいことではないのかなと感じた。
- ・今まで知らなかった制度があったので勉強になった。
- ・今まで事例がなかったので、今後ヤングケアラーの対応があった時は相談しようと思った。
- ・ヤングケアラー早期発見のためのチェックシートについては、専門職として気づく項目がわかりやすく、誰がアセスメントしても同様の状況確認ができるツールだと感じた。今後、居宅の体制(特定事業所としての)を正しく構築するためにも参考にしたい。
- ・訪問介護や自治体の配食の対象は、高齢者世帯や非課税世帯となりがちであるが、ヤングケアラーが支えているような過程も対象となってほしいと思う。
- ・支援において“連携支援10箇条”の姿勢を大切にしていきたいと思う。
- ・アセスメントシートを活用して、早期発見できるよう活用していきたい。
- ・北九州市の現状について学習することができた。
- ・気づいたときに、広い分野で相談していける体制を作っていければと思った。

午後

- ・制度の事、地域で過ごせる社会の実現について考えさせられた。
 - ・現在難病の方の相談が増えているので、提案できる技術を学んでいきたいと思った。難病の方の支援では、枠を超えた視点を持って対象者と対話してほしいと言う話が心に残った。
- 北九州市の難病支援の課題について、介護保険同様、人材不足も大きな課題と感じた。
- ・講師の実体験を交えての講義、とても心に響いた。
 - ・難病についてさらに知識を深めていきたいと思う。
 - ・余白（スペース）こそ大事。“存在そのものがコミュニケーション”という言葉がとても印象的だった。
 - ・横のつながりが強くなり、北九州市が住みやすい街になれば良いかと思った。現場で困ることなどあれば声を上げ続けたいと思った。
 - ・コミュニケーションが大事。どこが辛いのか、痛いのか、伝えたいことを引き出していくことが大切だと感じた。
 - ・講師の熱意が伝わり、大変感動した。本日のお話を胸に、仕事をがんばります。
 - ・難病の方への住宅支援について知りたかった。

共通

- ・支援において、傾聴し、関係を築くこと。支援者が前のめりになりすぎず、寄り添う姿勢の必要性を再確認できた。
- ・難病でも子供でも、社会的少数者であっても、地域で暮らせる社会、そのために体制づくりに努めていきたい。
- ・地域で生活することが誰でも許される社会になっていくよう取り組みたい。

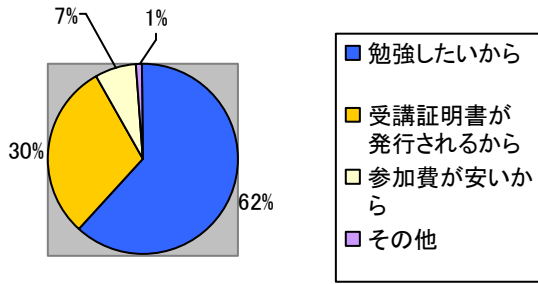
一人ひとりの声がとても大切で、行政につなげていけるよう仕事に活かしていこうと思った。

- ・ヤングケアラー、難病でも、つなぐ・連携して支援することが重要であると改めて感じた。
- ・行政に活気があることが大切。
- ・素晴らしい講演ありがとうございました。
- ・日ごろ高齢者中心に目が向きがちであったが、今回の研修で子供、難病、障害を持つ方々への視野を広げる必要性を感じた。
- ・現状の課題を知ることができた。
- ・高齢者支援だけでなく、児童・難病の方についても、地域での支援としてつなげていきたい。

●今後、企画して欲しい研修内容や活動内容などありましたらご自由にご記入下さい。

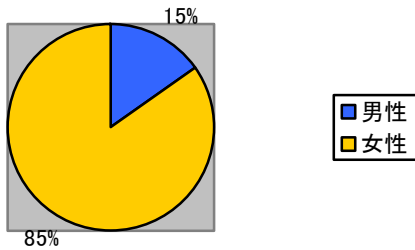
- ・今日のような行政がどのような支援をしているか、また社会資源をもっと知りたい。
- ・運営指導対策
- ・アセスメント課題分析の考え方
- ・計画書作成のポイントについて
- ・省察的思考について
- ・フォーマルインフォーマルにかかわらず、サービス拒否する方へのアプローチ
- ・家族支援について
- ・重度訪問介護について知りたい。
- ・引きこもりの方の支援(家族で引きこもりのお子様がキーパーソンとなっていることがあるため)
- ・サービスを希望しないセルフネグレクトのケースに関する支援のあり方、介入の方法について
- ・多職種連携について
- ・糖尿病(認知症独居の方、インシュリン、食事)の支援
- ・透析患者の支援について
- ・防災について

●あなたがこの研修に参加した動機を教えてください。

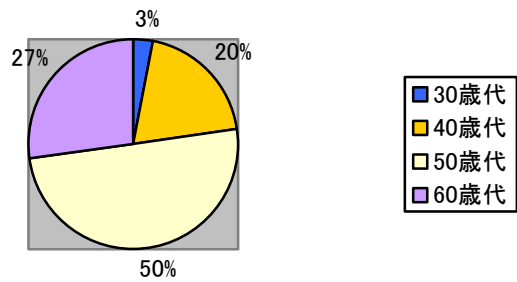


●アンケート回答者の属性について

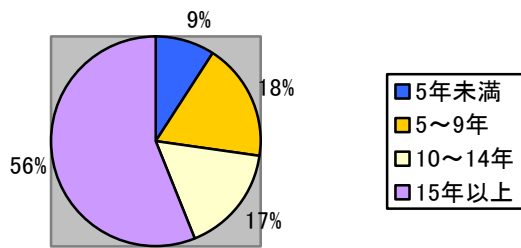
【性別】



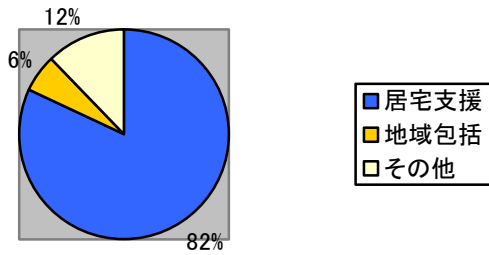
【年代別】



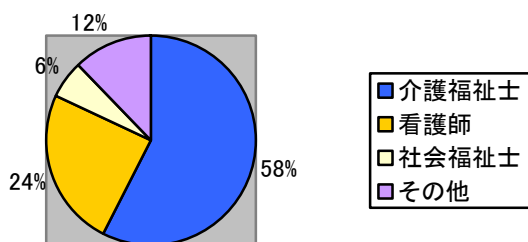
【ケアマネジャーとしての実務経験】



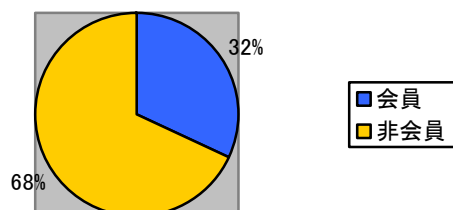
【所属について】



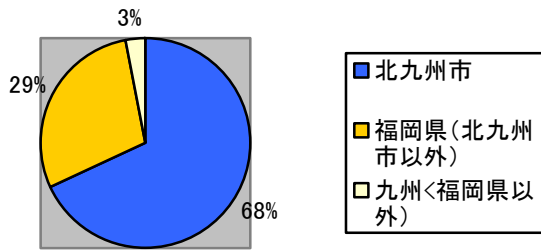
【前職は？】



【ケアマネット 21 の会員ですか？】



【どちらからお越しですか？】



以上

皆様、アンケートへの回答、ご協力ありがとうございました。
今後の活動の参考にさせていただきます。